

様式第二号の九 (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 5月 31日

愛知県知事殿

届出者

住所 愛知県蒲郡市港町2番5号
氏名 竹本油脂株式会社
代表取締役社長 竹本元泰

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0533-68-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	竹本油脂株式会社 大島工場
事業場の所在地	愛知県蒲郡市浜町53番1
事業の種類	16 化学工業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,887 t	全処理委託量	7,135 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	3,949 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	3,306 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	728 t	認定熱回収業者への 処理委託量	1,526 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	615 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

② 0

排 出 量

実績値
① 322

自ら直接埋立処分した量

③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理した後熱回収を行った量

④ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後は海洋投入処分又は埋立処分した量

⑨ 0

自ら中間処理した後熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理により減量した量

⑧ 0

自ら中間処理した後熱回収を行った量

⑩ 322

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ 308

自ら中間処理した後再生利用した量

⑫ 279

自ら中間処理した後熱回収を行った量

⑬ 5

自ら中間処理した後熱回収を行った量

⑭ 38

自ら中間処理した後は海洋投入処分又は埋立処分した量

⑮ 308

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

排 出 量

自ら直接立処分した量

② 0

項目 実績値

①排出量 1,453

自ら中間処理
した量

④ 251

項目 実績値

⑥ 168

自ら中間処理した後
の残さ量

⑦ 83

項目 実績値

⑩ 1370

直接及び自ら
中間処理した後
の
処理委託量

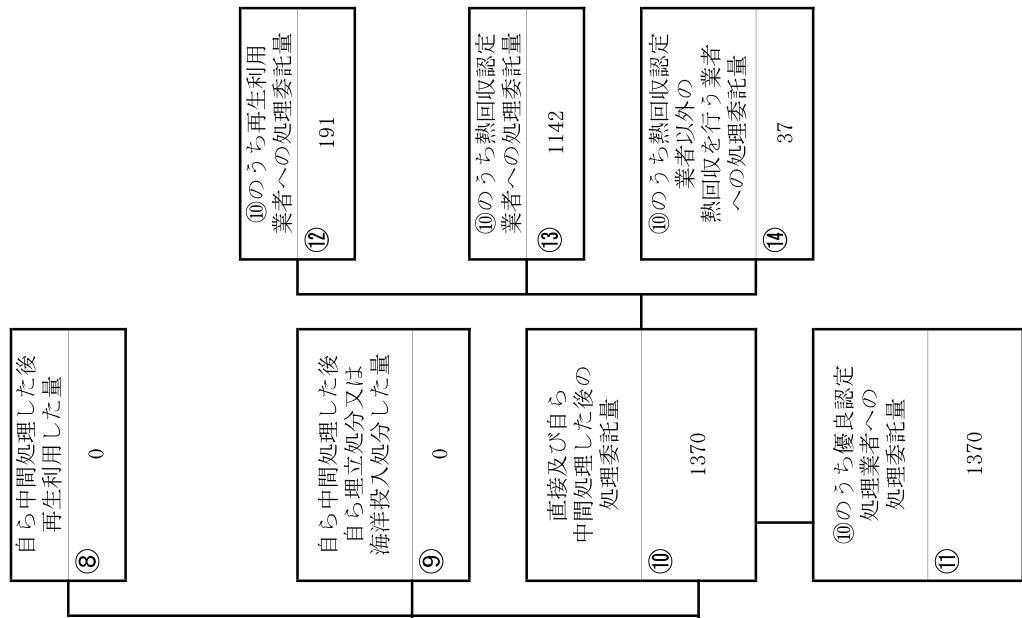
⑪ 1370

項目 実績値

⑫ 37

⑬ 1142

⑭ 37



(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)

不要物等発生量
有償物量

自ら直接再生利用した量
② 0

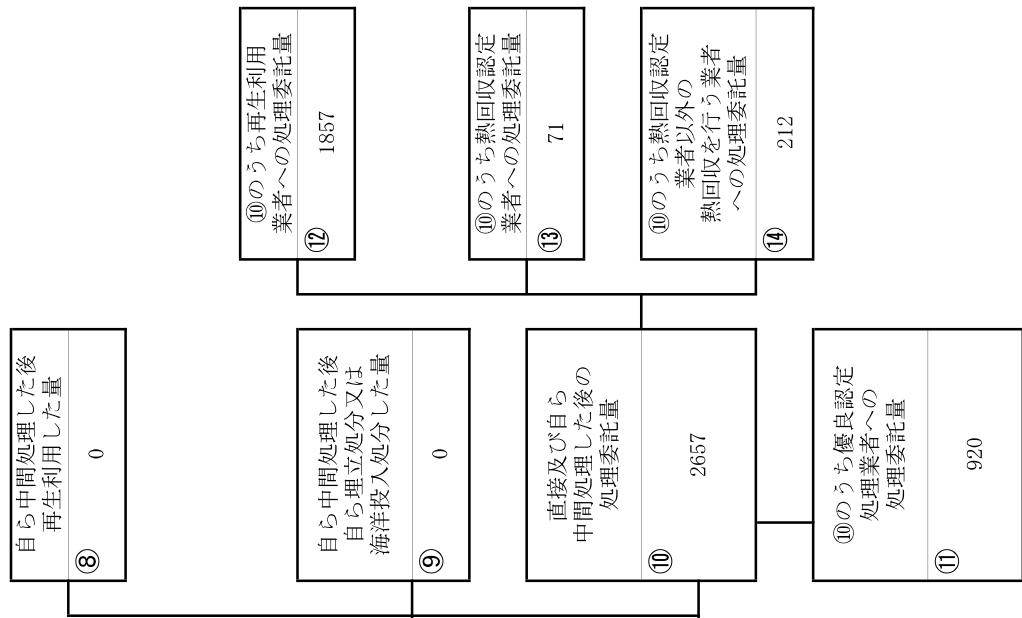
排出量
① 2925

自ら直接処分した量
③ 0

項目	実績値	
①排出量	2,925	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	268	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	2,657	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	920	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,857	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	71	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	212	

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨ 0	自ら中間処理した後 自ら直接再生利用した量 ⑩ 1857
自ら中間処理した後 自ら直接処分した量 ⑥ 544	自ら中間処理した後 自ら直接再生利用した量 ⑦ 268
④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0	自ら中間処理により減量した量 ⑧ 71
自ら中間処理した後 自ら直接再生利用した量 ⑩ 2657	自ら中間処理した後 自ら直接再生利用した量 ⑪ 920



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

)

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分した量

自ら中間処理した量
後の中間処理による減量した量

③ 0
④ 0
⑤ 0
⑥ 0
⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
の残さ量

⑨ 0

自ら中間処理した後
の残さ量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 670

自ら中間処理した後
の残さ量

⑪ 0

自ら中間処理した後
の残さ量

自ら熱回収認定
業者への処理委託量

⑫ 0

自ら中間処理した後
の残さ量

⑬ 0

自ら中間処理した後
の残さ量

自ら熱回収認定
業者以外の
熱回収を行なう業者
への処理委託量

⑭ 0

(第2面)

項目	実績値
①排出量	670
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	670
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処 理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行なう業者への 処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

排 出 量

自ら直接埋立処分した量

③ 0

項目 実績値

①排出量 112

自ら中間処理
した量

④ 0

項目 実績値

②+⑧自ら再生利用を
行った量 0

④のうち熱回收
を行った量

⑤ 0

項目 実績値

⑥+⑨自ら中間処理した後
の残さ量 0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0

項目 実績値

⑩+⑪自ら中間処理した後
の残さ量 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 112

⑪ 43

項目 実績値

⑫+⑬自ら中間処理した後
の残さ量 0

⑫のうち優良認定
処理業者への処
理委託量

⑬ 0

⑭ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

有 債 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排 出 量
① 46

自ら直接立処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

項目	実績値
①排出量	46
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全處理委託量	46
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した
後の残さ量

自ら中間処理によ
り減量した量

自ら中間処理した
後の残さ量

自ら中間処理によ
り減量した量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑫のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行なう業者
への処理委託量

⑬のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑭のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑮のうち再生利用
業者への処理委託量

⑯のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑰のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑱のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑲のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑳のうち再生利用
業者への処理委託量

㉑のうち熱回収認定
業者への処理委託量

㉒のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

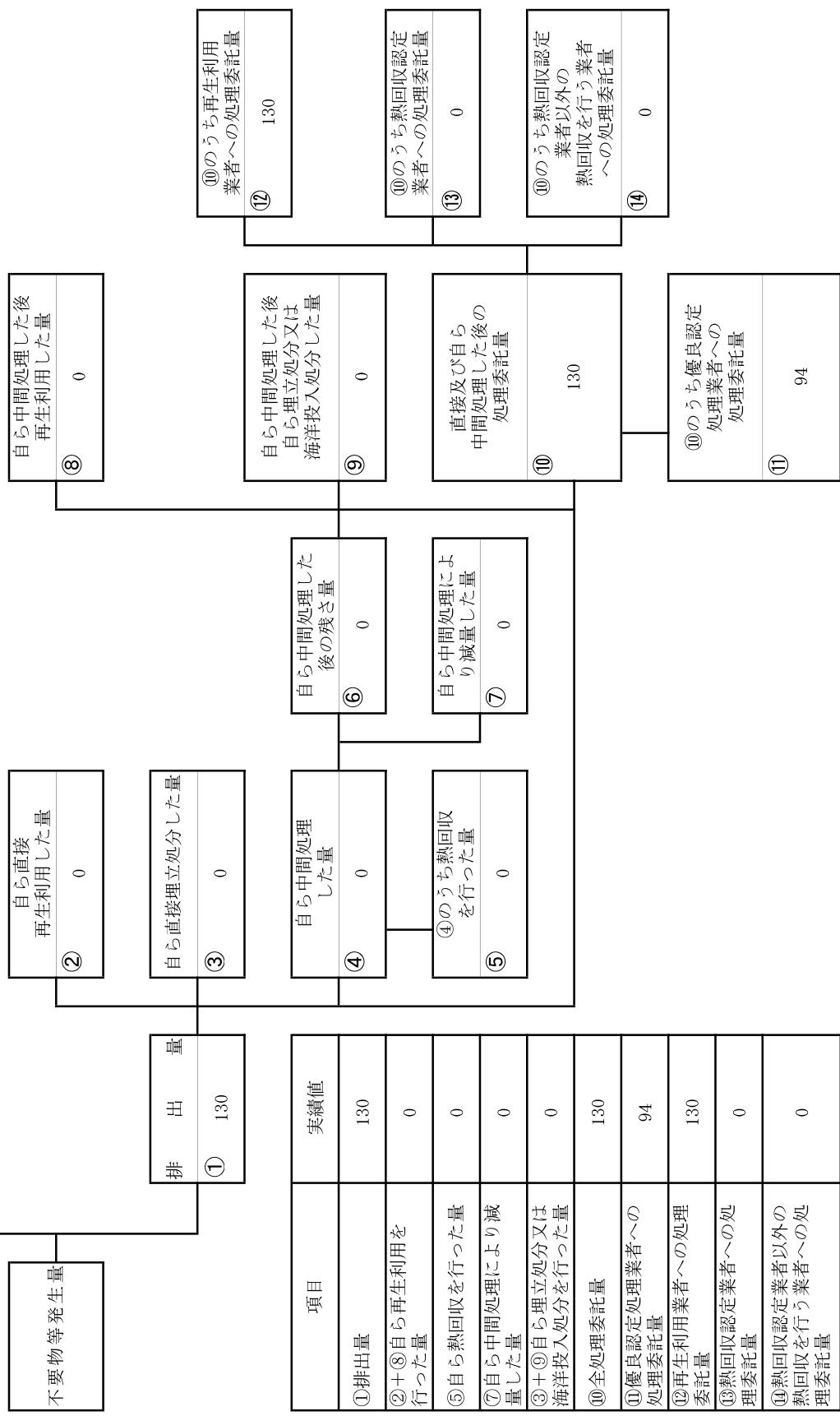
㉓のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑧ 0

(第2面)

（産業廃棄物の種類：安定型混合物）

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：乾電池)

有 債 物 量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量
0.031

排 出 量
0.031

自ら直接再生利用した量
0

自ら直接処分した量
0

自ら中間処理した後再生利用した量
0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後の残さ量

自ら中間処理により減量した量

直接及び自ら中間処理した後の残さ量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑪のうち優良認定業者への処理委託量

(第2面)

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収委託量	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の処理委託量

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。